

2020-8-1
No.1055 500円

思想運動

在沖米軍基地のコロナ集団感染	2面
HOWSで辺野古・大浦湾写真展	3面
新宿西口行動の発言から(渡邊洋・山口宏弥)	4~5面
エッセイ(近藤和樹・富山栄子)	4~5面
コロナ禍で加速する反労働者政策	6面
大阪人権博物館と橋下大阪維新	8面
キューバのコロナ封じ込め政策	10面

朝鮮学校を「無償化」からもコロナ禍支援からも排除するな！
拡大金曜行動で発言する田中宏・無償化連絡会共同代表(7月17日 文科直前 関連記事八面)



新型コロナ 第二波の収束に失敗し感染は再拡大 生命と生活を最優先に！ 労働者・市民 は要求しよう！ 立ち上がろう！

新型コロナ感染は新たな段階へ

日本国内の新型コロナウィルス感染者数は二万八〇〇〇を超え、死者数は一〇〇〇を超えた(七月二十三日)。「命」政府は政策の失敗を糊塗する令ではない外出自粛により国内の感染者数は徐々に減少したかに見えた。しかし、労働者・市民が外出自粛、休業、失業により生活が疲弊していき、政府は労働者・市民の生活の補償を真剣に行なわねばならず、その政策は首尾一貫せず、いい加減であった。「生活の困窮」と「経済の混乱」が、政府の無策の結果であることは明白である。反対意見を無視し政府は、五月二十五日、財界からの要請(2020.5.25)に「深刻に」応じて「経済活動」の再生のために緊急事態を全国で解除し、六月十九日には県境をまたぐ移動自粛を全面解除した。

人民を襲う苦難

全国的な社会活動の自粛の中尾一貫せず、その政策は首尾一貫せず、いい加減であった。「生活の困窮」と「経済の混乱」が、政府の無策の結果であることは明白である。反対意見を無視し政府は、五月二十五日、財界からの要請(2020.5.25)に「深刻に」応じて「経済活動」の再生のために緊急事態を全国で解除し、六月十九日には県境をまたぐ移動自粛を全面解除した。

二つの医療崩壊

加し第二波を形成しつつある。日本医労連の調査によれば、政府や東京都はほとんど感染抑制対策を放棄し、「新しい生活スタイル」を人民に押し付け感染予防を個人の責任に転嫁し始めた。日本国内の新型コロナウィルス感染者数は二万八〇〇〇を超え、死者数は一〇〇〇を超えた(七月二十三日)。「命」政府は政策の失敗を糊塗する令ではない外出自粛により国内の感染者数は徐々に減少したかに見えた。しかし、労働者・市民が外出自粛、休業、失業により生活が疲弊していき、政府は労働者・市民の生活の補償を真剣に行なわねばならず、その政策は首尾一貫せず、いい加減であった。「生活の困窮」と「経済の混乱」が、政府の無策の結果であることは明白である。反対意見を無視し政府は、五月二十五日、財界からの要請(2020.5.25)に「深刻に」応じて「経済活動」の再生のために緊急事態を全国で解除し、六月十九日には県境をまたぐ移動自粛を全面解除した。

PCR検査を求める署名にご協力を

「安倍政権はわたしたちの命と安全を守らない、労働者と社会的弱者は総団結して闘おう！」壊憲NO! 96条改悪反対連絡会ではこの横断幕をひろげて、コロナが全国に拡大した五月から毎月、新宿駅西口で「安倍政権退陣！緊急街頭行動」に取り組んでいます。こうした中、安倍政権は「GOTOトラベルキャンペーン」に明らかに命よりも経済を優先させる方向に舵を切りました。これに対して壊憲NO! 96条改悪反対連絡会では、PCR検査(抗原検査・抗体検査を含む)を希望する全員に、無料で、何度でも受けられる権利を要求して署名運動に取り組むことにしました。本紙号に、その署名用紙を同封しました。みなさんの協力をよろしくお願い致します。【編集部】

一年以上続くだろうと予想されている。医療機関の経営危機は、七月三日政府が医学医療関係者主体であった新型コロナ感染症対策「専門家会議」を廃止し、経済専門家配置した「対策分科会」を設置したことに現われている。政府は人々の命と健康を守るための感染防止策は二の次にし、外出自粛・営業自粛を解除し経済活動を優先する方針に舵を切ったのだ。

資本主義では立ち向かえない

政府に他の対策を選択する余地はなかったのか。そうではない。感染防止対策を最優先し、労働者・市民の命と生活を優先し、必要な財源は大企業の大内部留保金の充て、大企業優遇の法人税や高額所得者優遇の累進課税の是正、最低所得補償や生活保護制度の改善、住宅政策の改善などさまざまな政策があるはずだ。しかしそれをしないのが資本主義の政治なのだ。資本主義ではパンデミックに立ち向かえない！

生命が経済か

いま政府は、「感染予防も経済活動も両立させる」とか前掲の「コロナ対策を行なう」と言っている。しかし、それは真つ赤な嘘である。その証拠は、七月三日政府が医学医療関係者主体であった新型コロナ感染症対策「専門家会議」を廃止し、経済専門家配置した「対策分科会」を設置したことに現われている。政府は人々の命と健康を守るための感染防止策は二の次にし、外出自粛・営業自粛を解除し経済活動を優先する方針に舵を切ったのだ。

二つの医療崩壊

医療機器と専門の医師、看護師など多数の医療スタッフを必要とし、その分コロナ患者以外の入院患者の治療を犠牲にせざるを得なかった。多くの患者が自宅待機や医療機関でない施設に不完全に隔離されるしかなかった。一部の患者が自宅で待機中に悪化し死去した例も出ていた。押し寄せるコロナ患者と不足する感染予防器具による院内感染の危険や医師ほか医療関係者の疲弊のために、日本の新型コロナ感染症の医療体制は崩壊し、崩壊寸前であった。これが第一の医療崩壊である。

PCR検査を求める署名にご協力を

「安倍政権はわたしたちの命と安全を守らない、労働者と社会的弱者は総団結して闘おう！」壊憲NO! 96条改悪反対連絡会ではこの横断幕をひろげて、コロナが全国に拡大した五月から毎月、新宿駅西口で「安倍政権退陣！緊急街頭行動」に取り組んでいます。こうした中、安倍政権は「GOTOトラベルキャンペーン」に明らかに命よりも経済を優先させる方向に舵を切りました。これに対して壊憲NO! 96条改悪反対連絡会では、PCR検査(抗原検査・抗体検査を含む)を希望する全員に、無料で、何度でも受けられる権利を要求して署名運動に取り組むことにしました。本紙号に、その署名用紙を同封しました。みなさんの協力をよろしくお願い致します。【編集部】